

News Release

2021年10月28日

アジア開発銀行が発行するウォーター・ボンドへの投資について
(アジア・太平洋地域における水の安全保障実現を支援)

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社(取締役社長:加治 資朗、以下「当社」)は、このたびアジア開発銀行(以下「ADB」)が発行するウォーター・ボンドへ投資しました(2021年10月21日付)。

1. 投資概要

	発行体	アジア開発銀行 (Asian Development Bank)
	投資額	30百万豪ドル (約24億円相当* 1豪ドル=81.15円換算)
	投資年限	10年(2031年償還)
	発行体格付	スタンダード&プアーズ: AAA /ムーディーズ: Aaa /フィッチ: AAA

2. ウォーター・ボンドの目的

アジア・太平洋地域では、約3億人が安全な飲料水を利用できず、約1.2億人が適切な衛生施設にアクセスできない状況にあります。廃水の約80%は、一次的な処理がほとんど、またはまったく行われずに、河川や湖、海に排出されています。また、この地域では、世界の水災害の40%以上が発生しています。

ADBのウォーター・ボンドにより調達された資金は、同地域の水の供給、衛生、水資源管理、水関連の災害対策を含む、水と衛生の安全保障ニーズを満たすためのプロジェクトに充当されます。

3. 当社のESG投資

MS&ADインシュアランス グループは、「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」ことを経営理念に掲げています。また、中期経営計画「Vision 2021」では、SDGs(持続可能な開発目標)を、社会との共通価値創造のあり方を示す道標として取り入れています。

当社は、SDGsに資する取組みとして、2016年度から継続的にESG投資を行っており、今回の投資はADBが発行する「ジェンダー・ボンド」に次ぐ、今年度2例目のESG投資になります。引き続き、財務の健全性と運用力の強化を図りながら、ESG投資を積極的に実行していきます。

以上